

**HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY****October 16-31, 2006**

28日以内閣府が「体力、スポーツに関する世論調査」の結果を発表した。その結果は「自分は肥満」と感じている成人が全体で43.4%あり、男性39.9%女性46.5%であった。一方、「運動不足」を感じている成人は全体で67.6%、男性65.4%女性69.6%であり、女性の方が「肥満」も「運動不足」も強く感じている傾向がみられる。この1年間で「運動やスポーツを行った」と回答した人は全体で74.5%であった。週1回以上スポーツする人は59.6%、月に1~3回21.9%、3ヶ月に1~2回9.6%、年に1~3回8.8%であった。週に3回以上運動をする割合は男性27.2%女性31%であった。女性の方が積極的に運動をする傾向もみられた。女性の方が健康志向が高く、実践もしている傾向がみられた。

5月8日に厚生労働省から発表された、メタボリックシンドロームに関する調査結果では、40~74歳の人のうち940万人がメタボリックシンドロームの強い疑い、1,020万人が予備軍と考えられ、男性の2人に1人が危険水域に該当する、と発表された。今回の内閣府の調査結果をみると、男性は自覚が足りないのか、自信過剰なのか、自分が「肥満」ではない、と思っている人が6割もいる事になる。

男性向のダイエット食品がなかなか上手くいかない原因の一つはこの「自信」なのであろう。自分の健康状態を正確に自覚させる、という骨の折れる前段階が必要なようである。

**NEW PRODUCTS****DHC 目的別複合型サプリメント発売**

ディエイチシーは、目的別の複合型サプリメントを新たに開発、10月12日よりシリーズ10品を市場に投入した。すでに取り扱っている成分だけではなく、今回初めて取り扱う成分(発酵バガス等)も組み合わせている。目的別の複合成分製品はすでにファンケルなどの通販会社に取り組んでいるが、DHCは今回から本格展開を始める。商品は、



は、ダイエットパワー、コレステラダウ、ふしぶし、めはつきり、さらさら、肝エネルギー、トイレアシスト(男女)、なめらか肌、体力強壯の10製品。「ダイエット」目的の製品では、10種類の成分を配合するなど、オリジナル性を強めた。また、「トイレアシスト」は、業界では、めずらしい男女別タイプの商品となっている。

(2006年10月19日 日本流通産業新聞)

### 大正製薬、コエンザイム Q10 配合のサプリメント「リビタ Q10 タブレット」などを発売

大正製薬株式会社は、コエンザイム Q10 を配合したサプリメント「リビタ Q10 タブレット」と同じくコエンザイム Q10 を配合した機能性美肌クリーム「リビタ Q10 クリーム」を 10 月 16 日より発売開始する。現在、コ



エンザイム Q10 は、健康食品をはじめ様々な製品に配合され、消費者認知度の高い栄養素となっている。「Livita(リビタ)」は、同社が医薬品の開発で培ったノウハウを活かし科学的根拠にもとづいて開発された食品や化粧品に関する同社の健康サポートブランド。これまでの生活習慣予防に対応した特定保健用食品を中心とするラインナップに加え美容や抗加齢に対応する製品を加えることで健康と美を願う生活者のニーズに対応していく方針である。

(2006 年 10 月 16 日 大正製薬 プレスリリース)

### 明治乳業、ハーブを加えた乳飲料「明治くつろぎ」(500ml)を発売

明治乳業(株)は、11月7日より、「明治くつろぎ」(500ml)を関東、東海、北陸、関西地区で新発売する。現在、飲用牛乳市場が低迷しているが、同社は、若い女性を中心に牛乳類が夜のリラックス時やくつろぎ時に飲



用される機会が増えていることに着目した。そこで、近年「リラックス」効果があると注目されている「テアニン」と安らぎ、癒しを求める時に使用される「ハーブ」を加えた乳飲料「明治くつろぎ」を発売する。脂肪を牛乳の半分に以下に組成したため、寝る前に飲用しても脂肪分の摂りすぎを気にする必要がない製品となっている。

(2006 年 10 月 17 日 明治乳業(株) プレスリリース)

### ライオン、「乳酸菌 LS1」高配合のタブレット「デントヘルス オーラルヘルスタブレット」を発売

ライオン株式会社は、「プロバイオティクス」の考え方を口腔内に応用し、生きた「乳酸菌 LS1」を配合したタブレット「デントヘルス オーラルヘルスタブレット」を 11 月 8 日より全国で新発売する。「プロバイオティクス」の一種である、乳酸菌やビフィズス菌などは、体内で「善玉菌」として有用な働きをしていることが明らかになっているが、この「プロバイオティクスに細菌のバランスを保つ」という考え方を歯周病など口腔内の疾患に応用する研究が最近の予防医学において世界的に注目されている。そこで、同社は、生きた「乳酸菌 LS1」を開発し、製剤化した。また、「乳酸菌 LS1」の生菌数が口中で高い状態に保てるよう、タブレット中に水分が増加するのを調整する成分を配合した。



(2006 年 10 月 23 日 ライオン株式会社 プレスリリース)

### 兼松ウェルネス、通信販売専用商品「ウェルネスエイビーミルク」など 3 品を発売

兼松ウェルネス株式会社は、同社の通信販売専用商品として「ウェルネスエイビーミルク」「ウェルネスローヤルゼリー」「ウェルネスブルーベリー」の 3 商品を新発売する。「ウェルネスエイビーミルク」は、発売以来 12 年が経過した同社の「スターミルク」に雪印乳業の MBP(R) (牛乳や母

乳に含まれる天然の微量たんぱく質を添加した。「ウェルネスローヤルゼリー」は、生ロイヤルゼリー1000mg とリラックス素材テアニンを配合した。また、「ウェルネスブルーベリー」は、野生種のビルベリーに含まれるアントシアニンとマリーゴールド色素に多く含有されるルテインが眼の健康をサポートする製品となっている。

(2006年10月24日 兼松ウェルネス(株) プレスリリース)

### ヤマザキナビスコ、国内原料にこだわった「紫いものクリームサンドビスケット」を発売

ヤマザキナビスコ株式会社は、国内産原料(小麦と紫いも)にこだわった「紫いものクリームサンドビスケット」を発売する。同品は、国内産小麦を100%使用し、アントシアニンを豊富に含む紫いもを使用した和風ビスケットとなっている。

(2006年10月30日 ヤマザキナビスコ株式会社 プレスリリース)



### 森永製菓、手軽に摂れるプロテイン「ウィダープロテイン 噛むタブレット」など2種を発売

森永製菓株式会社では、ウィダーブランドから手軽に摂れるプロテインとして「ウィダープロテインバー」と「ウィダープロテイン噛むタブレット」の2品を11月6日より首都圏のコンビニエンスストアなどで発売する。すべての人に必要な成分、プロテインを手軽に補給できるように形態にこだわり、それぞれミニボトル、食べきりサイズのミニバーとした。おやつ代わりに、または、食品に足りない分をプラスするなど様々なシーンで利用できる商品となっている。

(2006年10月30日 森永製菓株式会社 プレスリリース)



### ロッテ健康系ソフトキャンディ「ナチュビオ<ヨーグルト味>」など2品を発売

株式会社ロッテは、植物性乳酸菌と「ビオチン(ビタミンH)」を配合した健康系ソフトキャンディ「ナチュビオ<ヨーグルト味>」と「ナチュビオ<マスカット味>」を11月7日より首都圏、中部、近畿で発売する。同製品は、20-30代の男女をターゲットとしている。

(2006年10月30日 ロッテ株式会社 プレスリリース)



### コカ・コーラシステム、ビタミンC、クエン酸など配合の機能性飲料「アクエリアス ビタミンガード」を発売

コカ・コーラシステムは、先進の総合スポーツ飲料「アクエリアス」より、体調維持に役立つ機能性飲料「アクエリアス ビタミンガード」を11月6日より全国で新発売する。健康不安や体調管理ニーズが高まる冬に向けて、皮膚と粘膜の健康維持を助けるビタミンCとナイアシン、基礎体力をサポートするクエン酸、BCAAを水分とともに補給できる製品となっている。体調や乾燥が気になる季節の水分補給として、20代から30代の男女を中心に訴求していく。



(2006年10月30日 日本コカ・コーラ株式会社 プレスリリース)

## COMPANY NEWS

### タニタ 子供の肥満判定が行える体組成計発売

株式会社タニタでは、家庭用の体組成形では始めてという子供の肥満判定が行える新機種「インナースキャン 50」を10月16日に発売する。新モデル「BC-302 / 303」では、6歳からの体脂肪率、体脂肪値による肥満判定、筋肉量、推定骨量を表示する。さらに、18歳からは、内臓脂肪レベル、基礎代謝量、体内年齢、筋肉量スコアなども表示できる。生活習慣のひずみに起因する子供の肥満が社会的な問題となっており、家族の正しい食習慣や生活習慣を見直す健康管理をするための製品となっている。



(2006年10月5日 株式会社タニタ プレスリリース)

### AGF、「コーヒーオリゴ糖」が「特定保健用食品」の表示許可を取得

コーヒーの健康面の効用について研究を進めている AGF(味の素ゼネラルフーズ株式会社)は、2001年に「コーヒーオリゴ糖」に整腸効果があることを解明し、2004年11月に整腸機能を訴求した特定保健用食品の表示許可を取得した。その後、整腸効果以外の機能についても研究を続け、「コーヒーオリゴ糖」は、体脂肪低減の作用もあることが解明され、去る9月27日に「体脂肪が気になる方へ適したコーヒー飲料」の特定保健用食品の表示許可を<ブレンディ>リキッドコーヒーで取得した。特定保健用食品の中で体脂肪に関する表示許可を取得したコーヒー飲料は同社が初めてであり、オリゴ糖としても初めての取得である。

(2006年10月25日 味の素ゼネラルフーズ プレスリリース)

### カゴメ、植物性乳酸菌飲料「植物性乳酸菌ラブレ」の販売を近畿、中国、四国エリアに拡大

カゴメ株式会社は、「植物性乳酸菌ラブレ」130mlおよび100ml(宅配)の販売エリアを11月14日から、近畿、中国、四国エリアに拡大する。同製品は、メインターゲットを40-60代とし、腸内で生き抜く力が強い「ラブレ菌」を使用した乳酸菌飲料。2006年2月に関東、中部、北陸、近畿で発売開始したが、予想以上の受注に関東を中心とした1都9県に販売を限定してきた経緯がある。



(2006年10月25日 カゴメ株式会社 プレスリリース)

### コカ・コーラシステム、戦略的マーケティング活動を実践する新会社を設立

全国12ボトラー社ならびに日本コカコーラ株式会社などで構成する日本のコカコーラシステムは、全国規模のコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの大手小売顧客を対象に戦

略的マーケティング活動を実践する新会社「コカ・コーラ カスタマーマーケティング株式会社」(CCCMC)を発足する。営業開始は 2007 年 1 月を予定している。CCCMC は、消費者視点にたち、清涼飲料のマーケティング活動に留まらず、顧客が抱える新たな購買機会の創造や物流分野を含む経営課題の解決を支援する提案型営業を実践することを目的として設立した。製品開発とブランドマーケティングを担う日本コカコーラ(株)と製造販売を担うボトラー社が持つ様々なマーケティングノウハウや情報を結集し、製品開発とマーケティング戦略、アカウント戦略、マーチャンダイジングなどに加えて、全国統合サプライチェーンを運営する機能統合会社 コカ・コーラ ナショナルビバレッジが担う生産、物流とも連携を強化する。同社は、変化する消費者のニーズにスピード感を持って対応したいとしている。

(2006 年 10 月 27 日 日本コカ・コーラ(株) プレスリリース)